



本年もよろしくお願い申し上げます。



熊本大学工学部 まちなか工房 第143回 1月のまちづくり学習会

まちなか工房 企画 熊本地震からの復興を考えるワークショップ

私たちの「熊本の復興まちづくり」

入場
無料

新年明けましておめでとうございます。本年もまちなか工房をお引き立ての程、よろしくお願い申し上げます。

さて、熊本地震から2年が経った平成30年度も熊大工学部社会環境工学科3年生科目「社会基盤計画」では、14班が、昨年度に引き続き「熊本市の復興まちづくり提案」を考えました。1月の学習会は下記の通り学生からの発表とさせていただきます。多くの方の参加をお待ち申し上げます。

震災ごみ、仮設住宅、生活再建支援、復興まちづくり、観光復興、記憶の継承、防災教育、情報発信など多様な提案がなされました。11月に開催された工学部祭にて、優秀な成績を収めた5グループが発表いたします。

2班：ごみを漁る 6班：旅行者に優しい易しいまちーみんなの目線をかっさらえ
10班：クマッ 11班：義援金への思い
13班：未来の減災へ～語り継がれる記憶のバトン～

登壇者 熊本大学工学部社会環境工学科3年生と
「社会基盤計画」担当教員：田中尚人・星野裕司先生

日時 2019年1月17日
18:30~20:00

場所 まちなか工房
熊本市中央区南坪井町 1-5
上通並木坂サンコスメディオビル 2

■まちづくり学習会について

まちなか工房では月に一度、中心市街地関係者や市民を対象に『まちづくり学習会』を開催しています。県内外から専門家や実務経験者を招いて講演を開き、中心市街地活性化策についてさまざまな意見交換をしています。学習会終了後には、講師の方を囲みワンコイン懇親会も行っています。まちづくり学習会の御案内をe-mailまたはFAXにて差し上げますので、希望の方はまちなか工房まで。

■過去の学習会

- 142回 熊本訪日エコツアーから見たインバウンドの現状と課題
- 141回 ドローンを取り巻く環境と活用事例
- 140回 新町コーポニュータウン再生の取り組みについて
- 139回 商店街の若手を中心とした「くまもと・まち魅力向
- 138回 桜町・花畑地区オープンスペースのデザインと利活用



第142回まちづくり学習会の様子

- 小林寛子氏(東海大学経営学部教授)
- 中田浩毅氏(株KKT イノベート)
- 江口泰史氏(不動産鑑定士 株式会社Addit)
- 松永哲典氏・布田善久氏・安田征司氏・増山晃太
- 永野康裕氏(熊本市都市活性推進課 技術主幹主査)

共催:文部科学省 大学間連携共同教育推進事業
「減災型地域社会のリーダー養成プログラム」
熊本大学熊本復興支援プロジェクト

お問い合わせ
まちなか工房 緒方・菊池
e-mail:machi-kobo@cotton.ocn.ne.jp
tel/fax:096-326-9502